

重点施策点検・評価表

5-1、5-2

基本目標		
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充	
重点施策		
1	スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する	担当課(館)
	① スポーツ関係団体との連携・支援	スポーツ振興課
	活動内容	<p>体育施設の指定管理者である体育協会や競技団体と連携を図り、市民のニーズに応えるきめ細かいスポーツ事業を展開する。</p> <p>今年で6回目を迎えるチャレンジデーは全市民的に生涯スポーツを推進する大きな機会であることから、さらなる広報・啓発活動を実施し、スポーツの習慣化へのきっかけ作りと位置づけ、推進する。また、各種大会等の開催・運営にあたり、主管競技団体の高齢化や会員不足により、従来の取り組みが困難になってきている現状である。各競技団体との意見要望を踏まえ、人的支援も含め、市民スポーツ振興の基盤である競技団体との連携を図っていく。</p>
	点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>市の競技団体を統括し、また体育施設の指定管理者である体育協会と連携を図り、助言、指導に努めることにより、体育協会の自主事業の開催、チャレンジデーへの参画など、地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進が図られた。</p> <p>また、陸協が主管する山田記念ロードレース大会や比内駅伝、スキークラブが主管する市民スキー大会などにおいて、市又は実行委員会で運営ボランティアの募集・活用することで、人的支援が図られた。</p>
	課題等	<p>市内の総合型スポーツクラブ(BTO、ひない、たしろ)の活動については、BTO(ブレイジングトルシエダ)はすでに自立し、活動も順調である。後発のスポーツクラブひない及びたしろスポーツクラブについては、31年度から比内・田代地域の体育施設の指定管理者に選定され、両スポーツクラブとも各種自主事業を計画している。自主事業実施による会員の確保など、自立に向けて、市として指導、助言に努めたい。</p> <p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>担当課からの各種団体への働き掛けにより、大会運営等の人的支援が図られてことを評価する。山田記念ロードレース大会が、66回も継続実施できていることは、陸協はじめ関係団体と適切に連携が図られていると考える。地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進も評価する。</p>	
2	スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める	担当課(館)
	① スポーツ少年団指導者や地域スポーツ振興に資する人財の発掘・育成	スポーツ振興課
	活動内容	<p>スポーツ少年団の社会体育化によって、指導者の確保が課題である。毎年スポーツ少年団の指導者研修には多くの保護者が参加され、資格を有し、活動を支えているものの、専門的な指導者の確保は困難な現状である。各競技団体やスポーツ少年団指導者協議会と連携を図り、長期的な指導者の発掘・育成に努める。また、地域のスポーツの振興には、スポーツ推進委員がその役割を大きく担っており、より専門的な指導者が求められている。スポーツ推進委員への研修機会提供による資質向上や地区公民館との連携により広く人財を求め、スポーツ指導者の育成・発掘に努める。</p>
	点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>今年度もスポーツ少年団活動の現地視察を市スポ少本部と実施し、現状把握と指導者要望に対応してきた。また、市内各スポーツ少年団の活動実態・傾向等を把握し、今後の望ましいスポーツ少年団活動の基礎資料とするため、市スポ少本部とスポーツ少年団指導者協議会がアンケートを実施した。地域スポーツ振興へ大きな役割を担うスポーツ推進委員においては、各地区スポーツ事業へ中心的に参画し振興を図っている。</p>
	課題等	<p>社会体育化6年目を迎えるスポーツ少年団活動であるが、学校団においては保護者父兄の指導者が中心であり、どうしても短期間になりがちである。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、引き続き長期的に指導できる者の育成、定着を図っていく必要がある。</p> <p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>スポーツ少年団指導者の発掘・育成については、他地域の現状把握・比較することが重要。意欲的に取り組む保護者を、指導者として育成・バックアップすることが、指導の継続に繋がると思う。学校団の長所を生かした、大館モデルを模索してほしい。</p>	

重点施策点検・評価表

5-3、5-4

基本目標			
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
3	2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業を推進する		担当課(館)
	① 2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業の推進		スポーツ振興課
	活動内容	2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けて、県と連携し、タイ王国を相手国としたホストタウン事業を推進する。今年度、9月に日本でバレーボール世界選手権が開催されることから、出場するタイ王国女子チームの応援事業を実施する。また、タイ王国を訪問し、誘致活動を展開し、事前合宿視察団の受入れを目指す。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) タイ王国女子バレーボール代表チームの事前合宿の誘致活動を進めてきたが、5月8日に鹿児島県鹿屋市とタイバレーボール協会が「事前キャンプに関する覚書」を締結したことから、誘致を断念した。 7月にパラリンピック競技の事前合宿誘致のため、タイ王国パラリンピック委員会及びタイ王国脳性麻痺スポーツ協会関係者を招致し、視察を実施した。 10月にタイ王国脳性麻痺スポーツ協会と、秋田県及び大館市でパラリンピック競技の「ボッチャ競技」と「陸上競技」の事前キャンプ実施に関する覚書を締結した。さらに12月には、同国のボッチャ選手を含む関係者を招聘することができ、これに合わせて基本合意書の調印を実施。より強固な関係構築とともに、パラリンピック競技の体験会を開催することで同国選手を含む関係者と市民との交流機会を設けることができた。	
	課題等	大館市が事前キャンプ地に決定したことにより、代表チームを万全な状態で送り出せるよう受け入れ体制を構築する。 事前キャンプ実施のみならず、交流計画に基づき、タイ王国との教育・文化・スポーツの相互交流事業の取り組みを推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	タイ王国女子バレーボール代表チームの事前合宿誘致を断念したものの、同国パラリンピック競技の「ボッチャ競技」と「陸上競技」の事前合宿の基本合意を締結できたことを評価する。また、事前合宿を契機として、スポーツのみならず、教育・文化まで交流事業を拡げていることを評価する。市民へのボッチャ競技の周知、選手団受入れに向けた支援の取り組みに期待する。		
4	大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		担当課(館)
	① スポーツ大会や合宿誘致などのスポーツツーリズムによる地域活性化の推進		スポーツ振興課
	活動内容	大型体育施設を活用した、大会、イベント、合宿誘致などのスポーツツーリズムを推進するため、より積極的な活動を行う。スポーツイベント誘致を促進するため、補助制度を継続する。また、合宿誘致では、東京、北海道等での直接勧誘や誘致用パンフレット作成・配布を行い、PR活動に努め、スポーツツーリズムによる地域活性化を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 東京都、北海道などで競技団体、大学、高校への誘致活動を行ったほか、北海道・東北地区の大学などへのパンフレット送付及び施設利用可能日の周知など広報活動を実施し、16団体(前年比△3団体)、344人(前年比△14人)の利用があった。 スポーツイベントについては、4月の「バスケットリーグ大館大会」(4,400人)、山田記念ロードレース大会(1,555人)、3月の「バスケットリーグ大館大会」(5,500人)が開催され、約11,000人の誘客が図られた。前年度は、ミニ国体、ベースボールクリスマスで18,450人の誘客があったため、比較実績では下回ることとなった。その他、7月には日独スポーツ少年団同時交流事業、8月には日韓ソフトテニス交流事業が実施された。	
	課題等	合宿誘致については、平成28、29年度利用団体の継続利用と新規利用団体があったものの、利用団体、宿泊者数とも前年度より減少した。今後は、ターゲットとして想定される地域での誘致活動や、新たな競技種目や団体への誘致活動を行う必要がある。 スポーツイベントについても、体協及び各単協と連携を図りながら、引き続き誘致を進め、交流人口の拡大を推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	合宿誘致について、継続利用(リピーター)を増やし、現行数をキープできるよう頑張ってもらいたい。イベント誘致についても、各種団体と連携して、チャレンジしてほしい。これまでの努力は認められる。		

重点施策点検・評価表

5-5、5-6

基本目標			
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
5	近隣市町村と連携し、スポーツ施設の広域利用を推進する		担当課(館)
	① 近隣市町村との連携したスポーツ交流の推進		スポーツ振興課
	活動内容	競技力向上やスポーツ機会の提供を図るため、近隣市町村と連携し、スポーツ施設の相互の広域利用を推進する。近隣市町村ならではの体育施設(ニプロハチ公ドーム、パークゴルフ場、屋内プール、スキー場等)でのイベント等を、連携して互いの活用を検討、スポーツ交流を推進する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標どおり (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 秋田県陸上競技協会の要請により、9月に秋田市で開催された「第23回東北高校陸上選手権大会」に必要な備品等の貸し出しを行ったものの、施設の広域利用に関する各自自治体担当者部署との協議を実施することができなかった。 今後、市内体育施設の改修時の代替開催地の要請を行うとともに、プールやパークゴルフ場等相互利用の取り組みを検討する。	
	課題等	少子高齢化、人口減少により各自自治体で主要な体育施設を新たに整備することは困難な状況にあることから、施設の広域利用を推進する。 大規模なスポーツイベントや互いの施設の有効活用を図るべく、情報共有し担当部署レベルでの協議を促進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	評価に係り、目標と活動内容とにずれがないか、方向性を再点検することが必要である。 プール、パークゴルフ場の整備については、多額な費用を要するが、高齢者の健康づくりに観点を置いた施設整備を検討したらどうか。		
6	多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努める		担当課(館)
	① 花岡総合スポーツ公園及び二ツ山総合公園幼児エリアの整備、老朽化体育施設の統廃合		スポーツ振興課
	活動内容	・広域的なスポーツ交流の拠点として、花岡総合スポーツ公園の整備計画(体育館、武道館の改修)を推進する。 ・二ツ山総合公園のアスレチック広場跡地に水遊び場や総合遊具、トイレを設置するなど、幼児エリアを総合的に整備する。 ・スポーツ施設について、利用者の安全性の確保が図れるよう、計画的な改修及び修繕に努める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る ・花岡総合スポーツ公園において、体育館、武道場の改修整備し、1月11日にオープニングセレモニーを開催、利用開始した。 ・二ツ山総合公園幼児エリア整備事業において、水遊び施設、休憩所が6月末に完工し、7月9日一部利用開始し、9月9日までの間に、5,343人の利用があった。幼児エリアの芝生、遊具の敷設などの整備が11月末で完工し、平成31年4月に全面オープンした。 ・長根山陸上競技場、二ツ山総合公園管理棟のトイレ洋式化の改修を実施した。	
	課題等	花岡総合スポーツ公園について、施設整備に向けて整備計画を策定する。 老朽化が進んでいる体育施設について、解体等に伴い、利用者との意見交換を実施し、利用者の再配置を実施する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	花岡総合スポーツ公園の体育館、武道場の改修整備を大きく評価したい。二ツ山総合公園の整備について、子育て世代が行きたくなくなるような施設にリニューアルしたことを評価したい。トイレ洋式化について、市民の生活様式の変化に対応した施設改修を評価したい。遊具の安全対策をお願いします。		